令和４年度　事業報告書 No.２

Ⅱ．事業の概要

１．法人関係 ……1
２．短期大学関係 ……2
３．中学校高等学校関係 ……4

学校法人 国際学院

Ⅱ．事業の概要

１．法人関係

（１）第Ⅴ期中期計画の推進

“ＫＧブランドの確立”を目指す方向と位置付け、第Ⅴ期中期計画（2022 年度から 2026 年度まで）の初年度として、全学的教学マネジメント体制の確立や学校法人ガバナンス改革など教育環境の大きな変化に対応すべく、さらに新型コロナウィルスによる社会経済の激変の中で、ＫＰＩを導入した進行管理により、実効性を確保した各種行事等の取り組みを実施した。

・ＧＣ・ＳＤＧｓの推進

平成 30 年 12 月、国連グローバル・コンパクト（ＵＮＧＣ）に署名し正会員として加入、ＳＤＧｓの目標達成に向けた取り組みをスタートさせた。

令和 4 年度もコロナ禍での制限が続く中、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（ＧＣＮＪ）が主催する環境経営分科会、ＧＣの社内浸透研究分科会、人権教育分科会、防災・減災（ＤＲＲ）分科会、ＳＤＧｓ分科会、ＷＥＰｓ（女性のエンパワーメント原則）分科会の 6 分科会に教職員が参加、ＧＣ並びにＳＤＧｓ推進に資するための知見を広めた。また、令和 4 年 12 月にはコミュニケーション・オン・エンゲージメント（ＣＯＥ）として、2 回目の諸活動をまとめた「国連グローバル・コンパクト 持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）活動報告 2022」を国連に提出した。前回提出の報告書を見直し、成果を可視化し定量化した報告書として取りまとめた。

その中で短期大学では、社会人のための学修環境整備の一環として委託訓練の実施をスタートさせた。中学校高等学校ではユネスコスクール活動とともに、ＥＳＤ教育やＳＤＧｓに関係する取り組みを行った。3 月には短期大学学友会・中学校高等学校生徒会ともにトルコ・シリア大地震支援募金活動を実施した。

・大宮キャンパス再開発の推進

大宮キャンパス再開発に向け、開発コンセプトの策定と計画の具体的な内容について精査を進めた。

（２）情報公開と説明責任の履行

広く積極的な情報公開を推進するため、令和 3 年度事業報告書及び令和 3 年度決算の概要①資金収支計算書、②学校別資金収支計算書、③活動区分資金収支計算書、④事業活動収支計算書、⑤学校別事業活動収支計算書、⑥貸借対照表、⑦財産目録、⑧学校法人会計の特徴や企業会計との違い、⑨学校会計の科目等について学院ホームページに公開した。

また、「寄附行為」、「国際学院埼玉短期大学ガバナンス・コード　第１版」、「令和 4 年度事業計画」、「設置校の学則」、短期大学教育研究活動等の状況についても、ホームページに公表した。

（３）お別れの会

令和 4 年 7 月 6 日にご逝去された「本学院創立者 学院長 大野　誠 先生 お別れの会」を令和 4 年 12 月 10 日 パレスホテル大宮にて執り行い、学院長先生の在りし日のご功績を偲びお別れするとともに、「人づくり教育」に邁進してこられた学院長先生の熱き想いを受け継ぐ決意を新たにした。

（４）学院創立記念関係

理事長・学長・校長による講話を短期大学、中学校高等学校それぞれオンラインで行うことで、教職員、学生生徒ともに本学院に対する皆の想いを一つにし、学院の一層の充実発展を期した。

２．短期大学関係

（１）大学等における修学の支援に関する法律第７条第１項の確認に係る申請

高等教育の無償化対象校として、機関要件を充足していることが文部科学省により確認・公表された。

（２）教育情報の公表

学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、本学教育情報をホームページに掲載した。

（３）大学ポートレート（私学版）での情報掲載

日本私立大学振興・共済事業団が運営するサイトに本学情報を掲載した。

（４）「大学コンソーシアムさいたま」における連携活動

さいたま市周辺の 12 大学とさいたま市との間で締結した包括協定に基づく大学間の連携活動を実施した。

（５）教育研究の取り組み

①ＦＤ・ＳＤの実施

＜全体＞・学生の「学ぶ」・「働く」・「成長」を考える（令和 4 年 5 月 11 日）

・埼玉県私立短期大学協会教職員研修会分科会（令和 4 年 10 月 12 日）

テーマ別研修　1.学生募集

2.入学前教育

3.専門教育・実習教育

4.学生生活支援

5.キャリア支援

6.地域・中高大連携

・令和 4 年度自己点検・評価報告書の作成について（令和 4 年 12 月 7 日）

・学生募集について（令和 5 年 2 月 8 日）

・学生の満足度を高め、成長を支援するための課題と改善策について（令和 5 年 3 月 3 日）

＜ＦＤ＞・科研費の獲得について（令和 4 年 6 月 8 日）

・授業公開週間の振り返り（令和 4 年 7 月 13 日）

・シラバスとアクティブラーニング（令和 4 年 11 月 11 日）

・授業改善に向けて（令和 5 年 1 月 11 日）

＜新入教職員＞心肺蘇生法と AED 講習会（令和 4 年 9 月 14 日）

＜ＳＤ＞・中期計画 KPI について（令和 4 年 6 月 8 日）

・学生募集「本学の特長 3 点」について（令和 4 年 7 月 13 日）

・学生の満足度測定と向上のための支援について（令和 4 年 11 月 11 日）

・学生募集「募集状況の現状と改善」について（令和 5 年 1 月 11 日）

②卒業研究発表会

期　日：令和5年2月14日　（大宮キャンパス）

発　表：SDGs目標の関連テーマ

幼児保育学科：25グループ

健康栄養学科：19グループ

（食物栄養専攻：15グループ　調理製菓専攻：4グループ）

③高大連携合同研修会

開催日：令和4年9月15日（木）　オンライン開催

講　師：櫻井康博 学長補佐

テーマ：「(改正) 障害者差別解消法の実施にむけて

－私立学校でも合理的配慮の提供が義務化されましたー」

（6）社会・地域連携の取り組み

①コンテスト

・第29回味彩コンテスト

令和4年8月25日

応募作品数　355点（一般の部165点・高校の部190点）

・第37回幼児絵画展

令和4年10月1日（1次・2次審査会）

応募作品数709点、応募園数100園

②フォーラム

・さいたま市「食品ロス削減プロジェクト」チームEat Allの一員として

第6回食品ロス削減全国大会 in さいたまへの参加

さいたま市主催、消費者庁・農林水産省・環境省共催

令和4年10月30日　市民会館おおみや（Rai Boc Hall）

食品ロス削減に向けた全国的な機運の醸成を図るため開催されるもので、展示会場スペースで本学の「調理学・給食管理ゼミ」の学生13名がブースを展開し、食品ロス削減の取組みを紹介するとともに、幼児保育学科の学生4名が「食品ロスすごろく」を活用し、来場した子どもたちと楽しく学びながら取組みを行った。

・さいたま市「第11回学生政策提案フォーラム in さいたま」への参加

さいたま市、コンソーシアムさいたま主催

令和4年11月20日　さいたま市生涯学習総合センター

大学コンソーシアムさいたま加盟大学（さいたま市内及び近隣に所在する13大学で構成）の学生が、各学生の専門分野等を生かし、さいたま市の政策について提案する事業で、本学からは、幼児保育学科の造形デザインゼミが「さいたまにじいろWEB」を提案し、健康栄養学科の鈴木ゼミが「健康寿命延伸のために、美味しく食べよう～フレイル・サルコペニア予防のために今から取り組むべきこと～」を提案した。

３．中学校高等学校関係

（１）国際連携の取り組み

○マレーシア　SEKOLAH SULTAN ALAM SHAH（マレーシア王立アラムシャー中等教育学校）
オンライン・ミーティング（リモート交流・情報交換会）
期　日：令和４年 11 月 30 日

○台湾　新荘高級中學
オンライン・ミーティング（リモート交流・情報交換会）
期　日：令和４年 12 月６日

○ベトナム　アジアンインターナショナルスクール
本校来校・交流会
期　日：令和５年３月 11 日

（２）教育研究の取り組み

①卒業研究発表会

○全日制課程　令和５年２月 13 日　オンライン配信

○通信制課程　令和５年２月 15 日　動画視聴

③高大連携合同研修会

開催日：令和４年９月 15 日（木）　オンライン開催
講　師：櫻井康博 学長補佐
テーマ：「(改正) 障害者差別解消法の実施にむけて
－私立学校でも合理的配慮の提供が義務化されましたー」

（３）学校評価の実施

令和５年２月１日　学校評価委員会（オンライン参加併用）
評価委員6名
（近隣小学校校長、近隣中学校校長、伊奈町元教育長、高校保護者会長、
短期大学副学長、短期大学事務局長）